

有田町・マイセン市

# 20年のあゆみ

## 20 Jahre gemeinsamer Weg

1979 — 1999

*Arita*



*Meißen*

有田町マイセン市姉妹都市提携20周年記念誌

Festschrift zum 20jährigen  
Bestehen der Städtepartnerschaft





# CONTENTS

有田町長あいさつ .....2  
 マイセン市長あいさつ .....3

## 姉妹都市提携20周年記念 「有田とマイセンの風に舞う」事業

有田町でのイベント .....4~9  
 マイセン市でのイベント .....10~14

有田マイセン姉妹都市提携20周年記念事業  
 訪問団スケジュール .....15

有田町の紹介 .....16  
 マイセン市の紹介 .....17

有田とマイセンの出会い .....18  
 姉妹都市調印 .....19

## 交流アルバム

出来事(1979~1989) .....20~23  
 東西ドイツ統一 .....24  
 姉妹都市再調印 .....25  
 出来事(1990~1999) .....26~29

マイセン市を訪れた人々 .....30~31  
 年表/陶都有田国際交流協会(団体名)紹介 .....32

## ごあいさつ



有田町長  
篠原 啓一郎

今から20年前、1979年2月9日に有田町とマイセン市は、磁器を絆として、当時の有田町長青木類次様とマイセン市議会議員で国立マイセン製陶所総裁カール・ペーターマン様の間で姉妹都市の調印が行われ、以来有田町には「マイセンの森」、マイセン市には「有田の森」という素晴らしい公園が整備され、市民に親しまれております。

本年は姉妹都市提携20周年という記念すべき年を迎え、お互いの街を舞台にした記念事業を開催いたしました。5月にはマイセン市から訪問団37名が来有され、陶磁器、マイセンビール、蜂蜜などの販売や、踊るポーセリンの公演、音楽演奏で有田陶器市に彩りを添えていただきました。9月には有田町から総勢64名がマイセン市を訪れ、茶道、書道、生け花などの日本文化の紹介や、蕎麦猪口の展示販売、有田皿踊りの披露などでマイセンワイン祭を盛り上げたことでした。中でも一番圧巻でしたのは、アルプレヒト城での陶芸作家の作品をはじめ、各窯元の名品を展示した現代陶芸展でありました。

更にマイセン市庁舎の入口に、姉妹都市協定に調印された青木類次町長とカール・ペーターマン国立マイセン製陶所総裁の陶磁器製記念レリーフを設置して顕彰を行うことができました。また、有田さくら会のご好意により、マイセン市の新市街地に桜の記念植樹も行うことができ、その通りを「有田通り」と命名いたしました。

この素晴らしい記念事業にご理解・ご協力を賜りましたトーマス・ポーラック市長をはじめ、マイセン市民の皆さん並びに有田町民の皆さん、そして準備作業から実施に至るまでお手伝いいただきました関係者の皆さんに心から感謝申し上げます。

この20年間に、多くの人たちが姉妹都市の間を行き来しました。今日では陶都有田青年会議所によって始められた青少年のホームステイ交流も活発になり、友情の輪も広がっています。また、有田町の国際交流員として四代目のロベルト・ホルストさんも姉妹都市交流の発展のために頑張っています。

いま、名実共にふたつの町が友好関係で固く結ばれ、今後も両市町が益々繁栄することを祈念して、姉妹都市提携20周年のごあいさつといたします。

## ごあいさつ



マイセン市長  
トーマス・ポーラック

マイセン市と有田町が姉妹都市20周年を迎えたことは、我々マイセン市民にとっても、たいへん重要なことでした。この出来事を、記念誌出版の契機とされることは、市民・企業・友好協会の実り多い協力と、絶えず生き生きと発展している友情の記録を振り返り、その将来を描くことは、両市にとって友好な機会となります。

姉妹都市交流の歴史は、両市がこれまで歩んできた数百年の磁器づくりの伝統の中に見ることができます。この歴史をとおして、姉妹都市交流は発展しましたので、我々はまず、国立マイセン製陶所に感謝したいと思います。姉妹都市の最初の10年間は、展覧会や経済的な協力関係のおかげで、日本そして有田に、マイセン市を紹介する機会、出発点をつくりました。

1989年までの姉妹都市交流は、当時の難しい政治色と外交儀礼に型打ちされたものでした。ですから、個人的な関係を築くことは、ほとんど不可能な状態でした。しかし、1991年の姉妹都市再調印は、新たな友好関係の基礎となり、両市の友好協会や子供たちのつながりを育て、今日の“出会いの家”を築くことができました。これまでの文化、経済、政治の分野においても、主体的で活発な交流を生み出しました。

有田とマイセンの友好は、交流を積み重ねて成長させ、振興させなければなりません。青少年交流の発展を思うとき、私は特別な喜びを感じるのです。両市の青少年がホストファミリーで、相手の街の生活や市民性を学ぶことが、青少年の将来において貴重な体験となるからです。この事業は、私たちの友好関係において、いまや確固たる部分となりました。

科学が進歩して世界の距離が縮まる時代に、私たちは短い出会いから長く続く友情を育み、それも数百キロを隔てて育成する最高の前提条件をもっています。マイセンは今日まで日本有田との友好関係を、長い時間と遠い距離を隔てて育てあげた、最初で唯一のまちであり、私はそれも保持していきたいと思います。

私たちの友好の絆は、これからの20年間に、さらに親密になっていくでしょう。そのことに参加して、私たちの未来を築き“出会いの家”が拡大する事を願っています。それが姉妹都市のまちづくりと住民のために役立つでしょう。



有田マイセン姉妹都市提携20周年記念

# 『有田とマイセンの風に舞う』事業

有田町での  
記念事業  
5月3日～5日

1999年5月3日から5日まで、有田町とマイセン市の姉妹都市提携20周年を祝うとともに友好の更なる発展を目指し、「有田とマイセンの風に舞う事業 in 有田」を開催しました。マイセン市からヤーン・ギュンター副市長をはじめ総勢37名が有田町を訪れ、多彩なイベントを開催し、会場となった役場前広場は華やかなステージと特産品販売で大いに盛り上がり、有田陶器市に彩りを添えました。

5月7日には、焔の博記念堂で「市民交流の夕べ」を開催し、マイセン市民と有田町民の交流を深めました。

午前0時、訪問団一行の出迎え

ようこそ、有田へ!



有田マイセン姉妹都市  
20周年記念陶メダル



有田町役場前に開設されたマイセン広場



会場風景



マイセンの子供たちによる  
 “踊るポーセリン”。  
 マイセンの陶人形を思わせる衣裳で  
 舞い踊り、観客を魅了しました。





会場を盛り上げた音楽演奏

# 有田で感じたマイセンの街。



レーマン錫店の鑄込実演



マイセン製陶所の絵付け技法を披露



独特の衣裳とパフォーマンスで人気を博したブリュック印刷



マイセンクリスタルガラスの細工技法を披露





マイセン焼きコーナー



4,000本のマイセンビールを完売



シュヴェルタービール醸造所の名誉醸造所長となった篠原町長



即日完売したマイセン蜂蜜



わたしの自慢のケーキです。  
どうぞ召し上がってください。

ティーガさんの  
マイセン名物  
フツメルケーキ



吉永菓子店にて

吉永菓子店で、  
職人同士の交流が実現しました。

プラムケーキ  
づくり



市民交流の夕べ  
5月7日



有田磁器太鼓によるオープニング



左から篠原町長、モニカさん、ヤーン副市長、蒲地昭三さん、川口武彦さん



マイセンの日常生活を写真展示



有田町の印象を歌にして大合唱



マイセン副市長ヤーン・ギンターご夫妻

通訳の  
モニカ・ゴールドシュミットさん

篠原町長

楽しい会場風景



ビール会社社長ギルヴィツヒさん



皿の握り方や仕草を手解き



マイセン市民と皿踊り



# 有田マイセン姉妹都市提携20周年記念

# 『有田とマイセンの風になう』事業

マイセン市での  
記念事業  
9月24日～26日

姉妹都市提携20周年を記念して、有田町から篠原啓一郎町長をはじめ、総勢64名がマイセン市を訪れ、同市最大のイベント「マイセンワイン祭」(9月24日～26日)に参加しました。5月に有田町を訪れたマイセン市民とも再会し、友情の輪が大きく広がりました。

記念事業では、市役所前広場の一角に「有田店」や「有田屋台」を出店し、日本文化や日本酒などを紹介したり、また、ワイン祭のパレードでは、マイセン市民とそろいの法被姿で皿踊りを披露するなど、マイセン市民との交流を深めました。さらにアルブレヒト城美術館で「有田とマイセンの現代磁器展」を開催し、“やきもの”を通しての交流も深めました。



マイセン製陶所



マイセン製陶所見学



アルブレヒト城



「有田とマイセンの現代磁器展」テープカット・会場



市民交流会式典



アルブレヒト城来館者名簿に署名



20周年記念  
ワイングラスで乾杯!



日本舞踊の披露



チロリン節の披露



日本酒のふるまい



お茶会

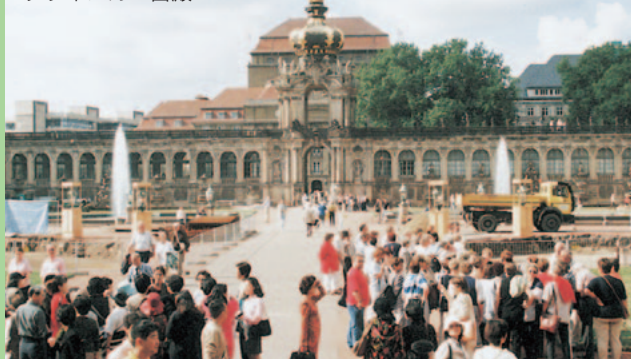
有田とマイセンの現代陶磁器展&市民交流会

# シュヴェルタービール醸造所での歓迎会

歌やダンスで大いに盛り上がりました！



ツヴィンガー宮殿



オーストリア・アウガルテン工房



スイス・ルツェルン市河畔にて



# マイセン



ワイン祭開幕式(市役所前広場)



男踊りの披露



詩舞の披露



日本舞踊の披露



有田町民31名とマイセン市民25名が「混成血踊り隊」を編成。エルベ川の対岸から、市役所前広場までの約2kmの市街地をパレードし、沿道に集まった5万人の観衆から盛んな拍手を受けました。



有田町の歴代国際交流員、左からシュテファン・ヨーハンさん、ヨーク・ザルトルさん、ケアスティン・ピュルシエルさん



# ワイン祭



有田屋台で  
タコ焼きの  
実演販売



有田屋台で  
日本酒の  
販売



有田店



ショーウィンドウ



煎茶のサービス



日本画の披露



お茶会



ドイツ人名を当て字で披露



折り紙の披露

# 姉妹都市会議

マイセン市は、ドイツのフェルバツハ市、フランスのヴィトリ市、チェコのリートメリチエ市、ギリシャのコルフ市、そして、日本の有田町と姉妹都市関係にあります。



記念レリーフ  
(カール・ペーターマン氏と  
青木頼次氏のレリーフ)



カール・ペーターマン夫人と記念レリーフ除幕式

## 有田通り

20周年を記念してマイセン新市街地の通りを“有田通り”と命名されました



桜の記念植樹

# 記念レリーフ除幕式 & お別れステージ



お別れステージ



市役所前マーケット広場に集まった大勢の人を巻き込み、総血踊りでマイセン市での記念事業のフィナーレを飾りました。

有田マイセン姉妹都市  
20周年記念絵はがき



有田マイセン姉妹都市  
20周年記念踊り皿  
(皿踊り用の皿)



有田マイセン姉妹都市  
20周年記念ワイン



# 有田マイセン姉妹都市提携20周年記念事業・訪問団スケジュール

## 「ヨーロッパ窯業・経済視察及びワイン祭」訪問団

平成11年9月19日(日)～30日(木)

● 訪問団員 17名 ●

日次	月日	地名	摘要	宿泊
1	9/19 (日)	有田 スイス	有田→福岡空港 福岡→成田空港 成田→チューリッヒ チューリッヒ→ルツェルン	ルツェルン
2	9/20 (月)	スイス	ルツェルン、 グリンデルワルト市内観光	ルツェルン
3	9/21 (火)	スイス オーストリア	●チューリッヒ市内観光 チューリッヒ→ウィーン	ウィーン
4	9/22 (水)	オーストリア	●ウィーン市内観光	ウィーン
5	9/23 (木)	ドイツ	ウィーン→ベルリン ●ベルリン市内観光	ドレスデン
6	9/24 (金)	ドイツ	●ドレスデン市内観光 ●ワイン祭開幕式 ●ワイン組合の試飲会	ドレスデン
7	9/25 (土)	ドイツ	●ワイン祭 ●ワイン祭パレード見物 ●姉妹都市会議 ●記念レリーフ除幕式	ドレスデン
8	9/26 (日)	ドイツ チェコ	●ワイン祭 ●桜の記念植樹 ●有田通りの命名式 ●返礼昼食会 マイセン→プラハ	プラハ
9	9/27 (月)	チェコ	●プラハ市内観光	プラハ
10	9/28 (火)	チェコ フランス	●プラハからパリへ移動	パリ
11	9/29 (水)	フランス	●パリ市内観光 パリ→成田	機内
12	9/30 (木)		成田→羽田空港 羽田→福岡空港 福岡より有田へ	

## 「有田とマイセンの風に舞う」事業訪問団

平成11年9月21日(火)～29日(水)

● 訪問団員 47名 ●

日次	月日	地名	摘要	宿泊
1	9/21 (火)	有田 ドイツ	有田→福岡空港 福岡→羽田空港 羽田→成田空港 成田→フランクフルト フランクフルト→ドレスデン ドレスデン→マイセン	マイセン
2	9/22 (水)	ドイツ	●マイセン製陶所見学 ●有田店の開店式 ●陶磁展開幕式 ●市民交流会	マイセン
3	9/23 (木)	ドイツ	●マイセン市内見学 ●ビール醸造所での歓迎会	マイセン
4	9/24 (金)	ドイツ	●ドレスデン市内観光 ●ワイン祭開幕式 ●ワイン組合での試飲会 ●有田屋台開店	マイセン
5	9/25 (土)	ドイツ	●ワイン祭 ●ワイン祭パレード参加 ●姉妹都市会議 ●記念レリーフ除幕式	マイセン
6	9/26 (日)	ドイツ	●ワイン祭 ●桜の記念植樹 ●有田通りの命名式 ●お別れ夕食会 ●お別れステージ ●花火大会	マイセン
7	9/27 (月)	ドイツ	●ベルリン市内観光 ●ドイツにおける 日本年公式行事参加 ●訪問団お別れ夕食会	ベルリン
8	9/28 (火)	ドイツ	●ベルリン市内観光 ベルリン→フランクフルト フランクフルト→成田	機内
9	9/29 (水)	有田	成田→羽田空港 羽田→福岡空港 福岡より有田へ	

# 有田町の紹介

有田町章



## INTRODUCTION



有田町は、佐賀県の西部に位置し、人口約13,500人、面積27.09km<sup>2</sup>のやきものの町です。山あいの東西に細長く市街地が形成されており、全域に標高300～600m程度の山々が連なり、森林が町土全体の約7割を占めています。これらの山々から発した水を集めた有田川は、町の中央を走り、隣接する西有田町を通過して伊万里湾に注いでいます。

古くからやきものの町として有名な有田町は、朝鮮人陶工李参平らによって泉山に陶石が発見(1616年)され、日本で初めて磁器が焼かれました。以来、佐賀藩のもとで、磁器生産が本格化し、谷あいに「有田千軒」と呼ばれる町並みが形成され繁栄を究めました。この街並みは、現在も歴史的価値の高い建物が数多く残っており、1991年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。



陶山神社



陶祖 李参平公の陶像



有田(赤絵町)の街並



有田焼



マイセン市章



# マイセン市の紹介

## INTRODUCTION

マイセン市は、ドイツ連邦共和国の東部に位置し、人口30,000人のザクセン地方有数の古都です。現在でも中世の都市建造物の名残りを留めているドイツの稀少都市の一つとして認知されています。その魅力はエルベ川沿いの歴史的な建築美術によって増大されています。

街の歴史は、一千年を越えており、10世紀半ばにマイセン地方が成立しています。18世紀初めに、もともとは錬金術師であったヨハン・フリドリヒ・ベドガーは、カオリン(陶石)と媒溶液を使って磁器を作ることに成功しました。このこと

よりヨーロッパで最初の磁器製作所がアルブレヒト城に設立されました(1710年)。19世紀半ば頃には、アルブレヒト城からマイセン市南西部に移され、現在ではザクセン州立マイセン製陶所と呼ばれるようになりました。1710年の設立以来から続く青の剣のトレードマークが、マイセン焼を示す商標となっています。

マイセンにはやきものと並んで有名なものにワインがあります。ザクセンのワインは、エルベ河岸の温暖な気候によって辛口のワインが産み出されています。



Meissen

マイセン製陶所トレードマーク



磁器の制作に励む錬金術師  
ヨハン・フリドリヒ・ベドガー像



ドーム(教会)



ぶどう畑



マイセン焼



マイセンの街並

# 有田とマイセンの出会い

## 協定書

有田町(日本国)とマイセン市(ドイツ民主共和国)との間の友好協力に関する姉妹都市協定

**第一条** 有田町及びマイセン市は、日本国とドイツ民主共和国との関係の緊密化に貢献することを希望して友好協力関係を結ぶことに合意した。

有田町とマイセン市は、姉妹都市関係の樹立が有田町とマイセン市との間の、また両国国民間の友好を促進し、緊密化するとともに、平和と国際理解にとって意義ある貢献であるとの確信を表明する。

**第二条** 双方は、体制を異にする国家間の協調的關係と友好的協力關係の發展のために尽力するとの固い決意とともに、平和の確立、緊張緩和の緊密化及び軍縮に寄与する活動を支持するとの固い決意を表明する。

双方はこのような意思に基づいて、双方の都市における政治的、経済的、社会的及び文化的生活の發展に関する情報の交換に合意し、地方自治体の分野における地方機関の活動に関する経験の交流を行う。

双方はその市民に対し、相手都市の生活と發展について、適当な方法により周知させる。

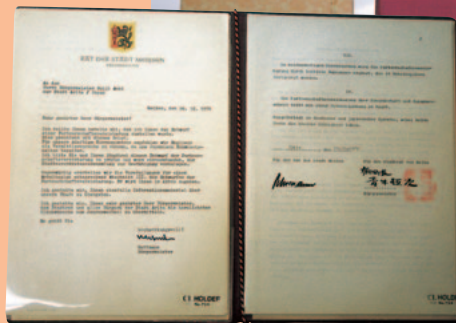
これは、両国における友好運動の一部であり、その活動を促進するものである。

**第三条** この姉妹都市協定は、相互の一致により作業計画において確定される具体的措置によって補完される。

**第四条** 友好協力に関する姉妹都市協定は、署名により効力を生ずる。

等しく正文である日本語とドイツ語により、本書二通を作成した。

1979年2月9日 東京において



## 町花・町木の制定

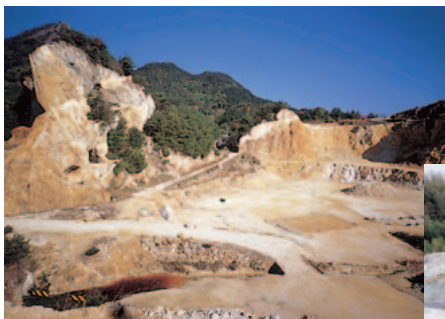
有田町とマイセン市との姉妹都市提携を記念して、町民からの応募94点のうち圧倒的多数をしめた、『桜の花』と『いちよう』が制定されました。

デザインは、それぞれ大樹のイメージと白磁の白と赤を基調にデザイン化されています。

町花 さくら



町木 いちよう



▲有田の採石場

▼マイセンの採石場



## 有田町とマイセン市の結びつき

マイセン市はいうまでもなく、ヨーロッパ磁器発祥地で、その歴史は300年と長く、そして有田町は、日本磁器の原点であり、400年の歴史を誇っています。双方のつながりは、17世紀中頃のオランダ貿易までさかのぼります。

## 17世紀半ばの オランダ貿易にはじまる交流

17世紀中頃、何千何万という大量の有田磁器が、オランダ東インド会社の船で、有田から伊万里、そして長崎（出島）を經由してヨーロッパへ輸出されました。ドレスデン一帯(ザクセン地方)を支配していたオーガスタ・ストロング王は、日本磁器に魅了され、ドレスデン近郊のマイセン・アルブレヒト城で製陶を起こさせました。

18世紀前半は、ドイツのマイセンはもとより、オランダのデルフト窯や、イギリスのチェルシー窯などで古伊万里風の絵付けや柿右衛門風の磁器が製作されるなど、いわゆるシノワズリー(中国趣味)やジャポネズリー(日本趣味)的な傾向が強く、その流れはヨーロッパ全域に伝播し大小40に近い窯々で有田のデザインが模写されました。

## 姉妹都市調印

姉妹都市の縁組みは上記のような歴史的交流を確認する意味で、1970年8月、まだ国交のなかった旧東ドイツを、深川正氏以下7人の有田の窯業人が訪れ、ドレスデン市のツヴィンガー宮殿磁器館で、膨大な数の古伊万里様式や柿右衛門様式などの有田磁器を目の当たりにし、その感動を持ち帰ったことに始まります。

1975年に開催された福岡大博覧会で、国立ドレスデン博物館秘蔵の古伊万里「里帰り展」が実現したとき、有田町長が姉妹都市提携を申し入れました。

さらに、参議院議員で日本・東独友好議員連盟の鍋島直紹氏や、東独・日本友好議員連盟会長のハンス・モドロー氏の仲介もあり、1979年2月9日、東京のホテルにおいて、有田町の青木類次町長と国立マイセン製作所カール・ピーターマン総裁との間で姉妹都市の調印が行われました。



有田焼とマイセン焼



7人の窯業人



蒲原コレクション(有田町所蔵)



古伊万里「里帰り展」の出品作を選定  
ドレスデン国立博物館ツヴィンガー宮殿磁器館にて 1974年(昭和49年)



調印式風景

# 交流アルバム・出来事(1979~1989年)

※DDR：旧東ドイツ（ドイツ民主共和国）

## 1979年 (昭和54年)

- 2月11日~12日 ●国立マイセン陶工所総裁カール・ピーターマン氏一行来有
- 24日 ●駐日DDRウルフガング・ミュンヒ代理大使夫妻・ライナー・フューガー二等書記官夫人来有
- 9月13日~26日 ●マイセン市公式訪問  
欧州三大窯業視察としてドレスデン、マイセン窯業視察と友好訪問（参議院議員鍋島直紹氏一行39名）
- 18日 ●有田ロータリークラブ、マイセン市へ鯉のぼりセット寄贈
- 18日 ●マイセン市へ小中高校生徒の作品(図画50点)寄贈
- 11月1日~5日 ●マイセン市の児童・生徒の交換作品展



カール・ピーターマンマイセン国立陶工所総裁一行



欧州三大窯業視察団歓迎セレモニー

## 1980年 (昭和55年)

- 5月13日~14日 ●駐日DDR特命全権大使ホルスト・ブリー閣下夫妻来有
- 9月16日~18日 ●国立マイセン陶工所絵付師ハインツ・ウエルナー氏来有
- 10月8日~9日 ●国立マイセン陶工所造形師ルドヴィヒ・ツェプナー氏来有
- 10月31日~11月1日 ●駐日DDR特命全権大使ホルスト・ブリー閣下と二等書記官フェイパー氏来有



欧州三大窯業視察団



国立マイセン陶工所絵付師ハインツ・ウエルナー氏



13代柿右衛門氏とマイセン陶工所副総裁

## 1981年 (昭和56年)

- 5月15日~16日 ●駐日DDR特命全権大使ホルスト・ブリー閣下と書記官ルックライネルト氏来有
- 10月20日~21日 ●国立マイセン陶工所副総裁ラインハルト・フィヒテ氏、絵付師ストーレ氏、ファルカス女史来有



DDRから贈られたマイセン磁器



マイセン国立陶工所絵付師ストーレ氏と13代今右衛門氏

# 1982年

(昭和57年)

- 1月25日 ●ホルスト・ブリー大使夫妻、ライナー・フリーゲル二等書記官来有
- 5月21日～22日 ●DDR人民議会ハンス・モドロウ議員一行来有（7名）
- 5月22日～31日 ●ドレスデン・マイセン窯業視察訪問団（30名）
- 8月1日 ●DDR文化省モニカ・ゴールドシュミット女史来有
- 10月3日 ●DDR日本友好連盟会長兼書記長フォルスト・ブラッシ氏一行来有（4名）
- 10月14日～15日 ●駐日DDRホルスト・ブリー大使夫妻来有



ハンス・モドロウ議員一行来有



ハンス・モドロウ議員と深川正氏

# 1983年

(昭和58年)

- 1月13日～14日 ●駐日DDR大使館文化担当官ヴィルフリード・シュミット氏来有
- 3月20日～31日 ●県政100年記念事業「マイセン磁器とドレスデンの古伊万里名品展」出品交渉 有田町助役一行DDRへ
- 9月24日～10月23日 ●県政100年記念事業「マイセン磁器とドレスデンの古伊万里名品展」の開催 佐賀県立九州陶磁文化館にて
- 9月24日 ●県政100年記念事業「マイセン磁器とドレスデンの古伊万里名品展」の開会式へDDR代表団来有
- 9月24日 ●姉妹都市記念事業「マイセンの森」記念植樹（樹木名：菩提樹、トリネコ、クス、イチョウ、ツツジ、シャリンバイ 有田ダム内マイセンの森にて）
- 10月22日～25日 ●ドレスデン国立美術館陶磁器美術館員フードリヒ・ライヘル氏「マイセン磁器とドレスデンの古伊万里名品展」の開会式と出品物引き取りのため来有
- 27日 ●DDR日本文化芸術交流協会総裁カールハインツ・シュールマイスター氏一行来有
- 10月27日～11月6日 ●県政100年記念事業「マイセン磁器とドレスデンの古伊万里名品展」終了報告と出品作品の返品のためDDRドレスデン市とマイセン市を訪問



有田磁石場にて



「マイセンの森」で記念植樹



九州陶磁文化館にて



「マイセン磁器とドレスデンの古伊万里名品展」開会式



町内を散策するDDR代表団



マイセン市庁舎にて「有田展」の打合わせ

# 1984年

(昭和59年)

- 3月5日～6日 ●国立マイセン陶工所ハインツ・ウエルナー教授来有
- 24日 ●DDRノイエス・ドイッチェランド外交政策部長とロルフ・ギンター氏来有
- 5月19日～28日 ●「日本有田の陶芸並びに名窯展」の打合せの為、DDRへ
- 10月17日 ●DDR国営旅行社ライゼビューローによる講演会の為ルッツクライネルト参事官夫妻とライゼビューロー・クラウスシュテファン氏来有
- 29日 ●DDRでの「有田展」の協議のため、国立マイセン陶工所総裁ラインハルト・フィヒテ氏来有



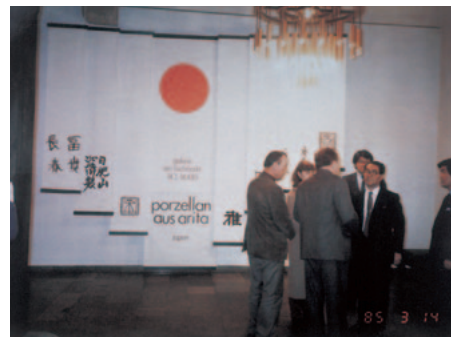
有田ダムを散策する駐日DDR大使館参事官一行

# 1985年 (昭和60年)

- 2月23日～24日 ●データー・イエガー駐日DDR大使一行来有
- 28日 ●DDR文化省国際局モニカ・ゴールドシュミット課長来有
- 3月2日～17日 ●有田展第1会場エアハルト市(会期 3月14日～5月14日)へ出品物確認及び展示作業のため訪独 鈴木由紀夫氏
- 3月12日～21日 ●有田展第1会場エアハルト市開会式へ出席
- 3月14日～5月14日 ●DDRでの「有田展」開催エアハルト市美術工芸博物館
- 6月4日～16日 ●姉妹都市佐賀県・有田町訪問団「有田展」開会式出席
- 6月7日～28日 ●「有田展」マイセン市アルブレヒト城で開催
- 8月4日～16日 ●「有田展」ヘルリン会場へ
- 8月8日～9月8日 ●「有田展」ヘルリン市ケベニック宮殿美術工芸博物館で開催
- 8月10日 ●DDR国営テレビ放送記者トーマス・ギルバースタイン氏来有
- 9月28日 ●有田焼・マイセン焼ジョイント展協議のためDDRマイセン陶工所総裁ラインハルト・フイヒテ氏一行来有  
●鍋島直紹氏のレリーフを頂く  
●マイセンの鐘が届く
- 11月1日 ●マイセン市ヘツツジ、イチョウ各30本計60本送る



「有田展」エアハルト会場での出品物展示作業



「有田展」エアハルト会場



「有田の森」鍋島直紹氏のレリーフ像前にて



マイセン市にある「有田の森」にて



マイセンの鐘落成式

# 1986年 (昭和61年)

- 5月10日 ●マイセンの鐘落成式  
佐賀県立九州陶磁文化館  
●鍋島直紹氏の顕彰碑除幕式  
有田ダム内マイセンの森
- 11月23日 ●マイセン市へ桜200本送る



鍋島直紹氏の顕彰碑除幕式



鍋島直紹氏の顕彰碑除幕式



# 1987年 (昭和62年)

- 3月23日～28日 ●マイセン市長クラウス・ドイマー氏来有  
●ベルリン誕生750年祭への招待をいただく
- 5月30日～6月13日 ●ベルリン誕生750年祭へ出席  
23日 ●D D Rから噴水台座が届く  
重さ7.25kg
- 11月1日 ●噴水磁器像ハウベンカズア(冠火喰鳥)落成式佐賀県立九州陶磁文化館に



マイセン市長クラウス・ドイマー市来有



県立九州陶磁文化館にて



県立有田窯業大学校にて



「マイセンの森」で記念植樹

# 1988年 (昭和63年)

- 5月23日～6月2日 ●有田マイセン姉妹都市10周年を記念して窯業視察団マイセン市訪問  
●青木類次町長 マイセン市名誉市民の章を受ける
- 6月25日 ●青木類次町長 マイセン市名誉市民章受賞祝賀会開催
- 10月12日 ●マイセン国立製陶所ラインハルト・フィヒテ総裁一行来有
- 19日 ●D D R政治経済研究所長マックス・シュミット氏来有
- 12月12日～14日 ●駐日D D R大使館特命全權大使マンフレット・シュミット氏一行来有



ハウベンカズア落成式



姉妹都市10周年記念訪問団(マイセン市庁舎にて)

# 1989年 (平成元年)

- 3月～6月 ●有田マイセン姉妹都市提携10周年記念事業「有田・マイセン磁器300年展」の開催
- 3月1日～14日 ●東京 そごう東京店
- 3月24日～29日 ●大阪 そごう大阪店
- 4月7日～12日 ●広島 広島そごう
- 4月19日～29日 ●豊田 豊田そごう
- 5月17日～6月11日 ●横浜 そごう美術館
- 6月14日～19日 ●札幌 札幌そごう
- 6月28日～7月3日 ●福岡玉屋



青木町長マイセン市名誉市民の章をうける



「有田マイセン磁器300年展」レセプション



「300年展」テープカット(東京)



「300年展」展示品

# 東西ドイツ統一

1949年の西独（ドイツ連邦共和国）と東独（ドイツ民主共和国）の成立以来、分断国家の道を行ってきた東西両ドイツは、1989年11月9日の「ベルリンの壁」崩壊後、「東」の「西」への編入という形で統一されました（1990年10月3日）。ドイツ統一により、欧州の戦後秩序は終わり、統合への新しい時代に入りました。

かつては東西ベルリンを分断する象徴ともなっ

ていたブランデンブルク門近くで行われた記念式典で、ワイツゼッカー大統領は「われわれは自らの意思に基づいて統一を自由のうちに完了する」と宣言しました。この瞬間、人口8000万の大国がヨーロッパの中央部に誕生しました。ベルリンの式典には、100万人の市民が参加し、国歌を歌い、国旗を振り回し、シャンパングラスを手に、ドイツ統一を喜び合いました。



1990年10月3日の真夜中、ベルリンの旧ドイツ国会議事堂前で：統一を祝う人々



現在メモリアルとして残されているベルリンの壁の一部

# 姉妹都市再調印

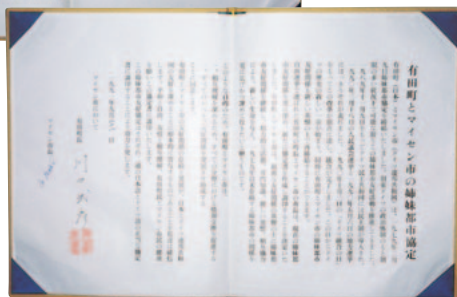
有田町とマイセン市は、統一ドイツ後の新しい体制のもと、新たな出発として更に友好交流を深めるために、1991年9月21日、マイセン市において、有田町の川口武彦町長と、マイセン市のゲルハルト・ヴァルトツシュ市長の間で姉妹都市の再調印をおこないました。

それ以来、青少年のホームステイ相互訪問交流や、双方のまちに市民組織の友好協会が設立されるなど、市民交流も盛んになりました。



再調印式風景

姉妹都市再調印協定書(ドイツ語)



姉妹都市再調印協定書(日本語)

## 有田町とマイセン市の 姉妹都市協定

有田町（日本）とマイセン市（ドイツ連邦共和国）は、1979年2月9日姉妹都市協定を締結いたしました。旧東ドイツの政治体制のもと制限の多い状況下で可能な限りこの姉妹都市友好活動を推進してきました。1989年11月9日をもってドイツ民主共和国には民主制が導入され、1990年3月18日の人民議会選挙と1990年5月6日の地方選挙にはっきりそれが表れました。1990年10月3日の『ドイツ統合の日』をもってこの改革が頂点に達し、統合が完了しました。この日からドイツの歴史の新しい一章が始まり、同時に有田町とマイセン市の姉妹都市友好関係も新しい基盤の上で再締結することができます。自由選挙で選ばれた有田町の町長とマイセン市の市長は、現在の姉妹都市友好関係をさらに深め、新たに協定書を作成し調印することを決定いたしました。有田町とマイセン市は、親密な友好関係の基盤の上に姉妹都市友好関係を継続し、精力的な活動、専門知識、新しい発想、相互協力により、新しい生命を与え、1979年以来存続する姉妹都市の関係を更に広げかつ深めて行きたいと願うものです。

このような目的のため、有田町とマイセン市は、

1、相互理解を深めるため、すべての分野における情報交換を促進する

1、すべてのレベルで友好関係を発展させ助成することに同意します。

有田町とマイセン市の友好関係の存続と発展が、日本とドイツ連邦共和国の友好を深めることに根本的に寄与するものであることを私達は確信します。平和と自由、友情と相互理解、有田町民とマイセン市民の健康を願いこの協定書に調印いたします。

この姉妹都市友好協定はそれぞれ2通の日本語とドイツ語の正当な協定書に調印することにより効力を発します。

1991年9月21日  
マイセン市において

# 交流アルバム・出来事(1990～1999年)

## 1990年 (平成2年)

5月14日～25日 ●マイセン市表敬訪問と「有田ポーセリンパーク」建設協議  
青木町長以下11名



姉妹都市締結再調印



姉妹都市締結再調印公式訪問団

## 1991年 (平成3年)

7月10日 ●マイセン製陶所社長ハンネス・ヴァルター氏来有  
姉妹都市締結再調印の提案ができる

9月15日～25日 ●姉妹都市再調印公式訪問とマイセンワイン祭参加  
川口町長以下32名

11月1日 ●国際陶芸アカデミー (IAC) 事務局長マリー・クルリー氏来有



青少年友好親善使節団



書道に興味津々



国際陶磁器交流フェスタin有田'92



国際陶磁器展会場

## 1992年 (平成4)

3月24日～4月3日 ●有田マイセン青少年友好親善使節団派遣  
青少年20名・随行者17名  
(陶都有田青年会議所主催)

4月29日～5月10日 ●「国際陶磁器交流フェスタin有田'92」国際陶磁器展開催  
県立九州陶磁文化館展示室にて

5月6日 ●「国際陶磁器交流フェスタin有田'92」サミット開催  
マイセン市ゲルハルト・バルトツシュ市長夫妻以下5名来有  
マイセン市、景德鎮市、(社)韓国陶磁器文化振興協会、有田町の4カ国が参加。  
県立九州陶磁文化館講堂にて

5月6日 ●「国際陶磁器交流フェスタin有田'92」レセプション開催  
有田町文化体育館にて

8月上旬 ●「海を渡った古伊万里展」出品交渉

10月5日～12日 ●国際陶芸アカデミー・トルコ訪問とマイセン市表敬訪問  
川口町長以下7名



サミット会場



サミット会場



左から (社)韓国陶磁器文化振興協会・会長金基衡氏、有田町町長・川口武彦氏、景德鎮市副市長・柯尔荣氏、マイセン市長ゲルハルト・バルトツシュ氏



レセプション会場



# 1993年

(平成5年)

- 4月17日 ●「有田ポーセリンパーク」オープニングセレモニー  
ドイツ連邦共和国駐日大使館  
ウィルヘルム・ハース氏、マイ  
セン市長ゲルハルト・バルトッ  
シュ氏以下14名来有
- 4月21日 ●「有田ポーセリンパーク」  
オープン
- 7月21日 ●国際交流員（C I R）として  
ヨーク・ザルトル氏着任
- 7月29日～8月10日 ●日独姉妹都市青少年相互交流  
セミナー開催
- 7月30日～8月9日 ●マイセン有田青少年友好親善  
使節団来有（23名）
- 9月上旬 ●世界焔の博覧会「文明とやき  
もの展」出品物調査
- 9月22日～10月1日 ●マイセン市表敬訪問とマイセ  
ンワイン祭参加  
川口町長以下11名



オープニングセレモニー



マイセン市長夫妻表敬訪問



ツヴィンガー宮殿（有田ポーセリパーク内）



Meissen Day



スイカ割りに挑戦

# 1994年

(平成6年)

- 2月9日 ●姉妹都市15周年記念植樹  
マイセンの森にて
- 4月7日 ●ドイツザクセン州首相クルト・  
ビーデンコップス氏一行来有  
（6名）
- 7月25日～8月3日 ●有田マイセン青少年友好親善  
使節団派遣／青少年10名・随  
行者6名（陶都有田青年会議  
所主催）
- 9月4日～14日 ●I A C国際陶芸アカデミー総  
会出席とマイセン市訪問  
川口町長以下42名
- 10月26日～28日 ●ドイツ人C I R（国際交流員）  
セミナー開催（9名）  
有田町役場にて



ザクセン州クルト・ビーデンコップス首相と



青少年友好親善使節団



また会おうね



I A C会員展（プラハ）



ドイツ人C I Rセミナー

# 1995年

(平成7年)

- 3月26日～4月3日 ●マイセン有田青少年友好親善  
使節団来有／青少年14名・随  
行者4名
- 9月18日～26日 ●マイセン市表敬訪問とマイセ  
ンワイン祭参加  
川口町長以下11名
- 10月2日 ●ドイツ：ウォルトガング・ザ  
イファーツ教授講演会開催  
勤労者福祉会館にて
- 12月11日 ●「有田・マイセン友好協会」  
設立  
ドイツ総領事館クラウス・ヴィ  
ーツェ氏来有



青少年友好親善使節団（熊本城にて）



そば打ちに挑戦



ウォルトガング・ザイファーツ教授夫妻表敬訪問



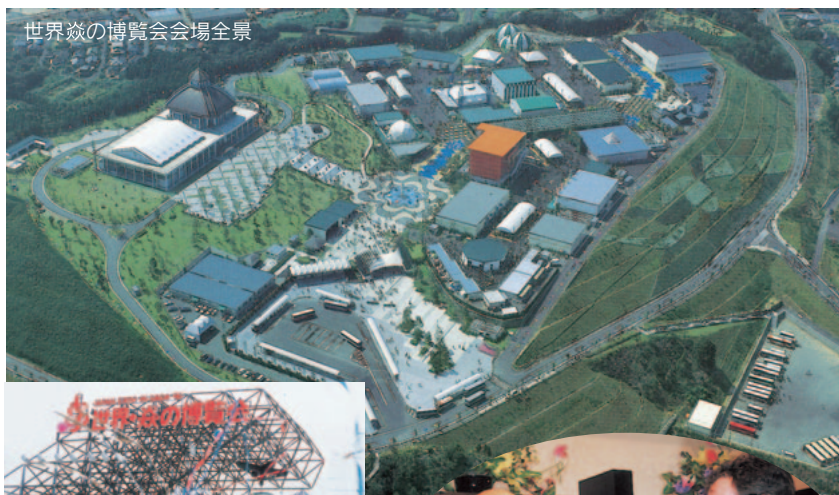
有田マイセン友好協会会長塚英樹氏とドイツ総領事館領事クラウス・ヴィーツェ氏

# 1996年 (平成8年)

- 3月25日~4月3日 ●有田マイセン青少年友好親善使節団派遣／青少年18名・随行者8名（有田マイセン友好協会主催）
- 7月19日~10月13日 ●ジャパンエキスポ「世界森の博覧会」が有田町を主会場に開催
- 7月19日 ●国際交流員（CIR）としてケアスティン・プリュシェル氏着任
- 9月2日~5日 ●マイセン市一行来有（「世界森の博覧会」見学）マイセン市トーマス・ポーラック市長夫妻以下12名
- 10月8日 ●欧州連合（EU）駐在欧州委員会代表部大使ヨルン・ケック氏来有
- 12月11日 ●「佐賀国際ショナル・バルーンフェスタ」大会ドイツ人選手来有（2名）有田中学校グラウンドで係留飛行



青少年友好親善使節団



世界森の博覧会会場全景



世界森の博覧会開会式



トーマス・ポーラック市長(左)「有田館」有田焼カフェにて

# 1997年 (平成9年)

- 3月28日~4月7日 ●マイセン有田青少年友好親善使節団来有／青少年18名・随行者6名
- 7月8日 ●ドイツヘキスト磁器工房社長ラインハルト・フィヒテ氏夫妻来有
- 8月24日~31日 ●マイセン市姉妹都市女性職員国際会議へ参加（6名）
- 9月22日~30日 ●マイセン市表敬訪問とマイセンワイン祭参加  
中原収入役以下7名
- 9月29日 ●ドレスデン市広報観光局クリストフ・ミュンヒ氏来有



マイセン製陶所ハルネス・ヴァルター社長夫妻(右)



青少年友好親善使節団



ラインハルト・フィヒテ氏夫妻表敬訪問



姉妹都市女性職員国際会議



ワイン祭ステージにて



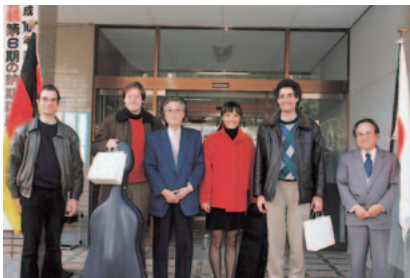
日本酒コーナー(ワイン祭会場内)

# 1998年 (平成10年)

- 3月25日～4月3日 ●有田マイセン青少年友好親善使節団派遣／青少年16名  
随行者11名(有田マイセン友好協会主催)
- 7月27日 ●国際交流員(C I R)として  
シュテファン・ヨーハン氏着任
- 12月13日 ●有田マイセン姉妹都市提携20周年記念プレイベント「ドレスデン トリオ コンサート」開催  
焯の博記念堂にて  
演奏者  
ヤン・フォークラー (チェロ)  
ミラ・ワン (ヴァイオリン)  
マティアス・キルシュネライト (ピアノ)
- 12月14日 ●有田マイセン姉妹都市提携20周年記念プレイベント「音楽交流会」開催  
有田中学校にて



青少年友好親善使節団



「ドレスデントリオコンサート」演奏者



コンサート会場 (焯の博記念堂)



音楽交流会



マイセンの森

# 1999年 (平成11年)

- 2月9日 ●姉妹都市20周年記念植樹  
マイセンの森にて  
樹木名:コナラ
- 3月25日～4月6日 ●マイセン有田青少年友好親善使節団来有／青少年15名・随行者7名
- 4月13日 ●ドイツ連邦共和国元大統領リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー氏来有
- 4月28日～7月26日 ●姉妹都市提携20周年記念事業「マイセン磁器の300年」展開催  
有田ポーセリンパークにて
- 4月28日 ●マイセン製陶所社長ハンネス・ヴァルター氏表敬訪問
- 5月2日～9日 ●姉妹都市提携20周年記念事業訪問団来有マイセン市ヤン・ギュンター副市長以下37名
- 7月28日 ●国際交流員(C I R)として  
ロベルト・ホルスト氏着任
- 9月19日～30日 ●姉妹都市提携20周年記念事業「ヨーロッパ窯業経済視察及びマイセンワイン祭」訪問団一行マイセン市訪問 (17名)
- 9月21日～29日 ●姉妹都市提携20周年記念事業「有田とマイセンの風に舞う」事業訪問団一行マイセン市訪問 (47名)



懸垂幕 (役場前)



姉妹都市20周年記念植樹(マイセンの森)



青少年友好親善使節団



マイセン製陶所ハンネス・ヴァルター社長表敬訪問



国際交流員ロベルト・ホルスト氏

# マイセンを訪れた人々

(氏名順不同)

1970年8月

窯業調査団

深川 正  
山口 秀市  
金子 源  
蒲地 昭三  
酒井田 正  
武富 忠勝  
森 正洋

1974年7月

窯業調査団

深川 正  
金子 源  
蒲地 昭三  
永竹 威  
久間 寛

1979年9月13日～26日

欧州三大窯業視察団

鍋島直紹  
鍋島和茂  
青木類次  
池田喜与太  
今泉 今右衛門  
今泉 泰子  
中島 政司  
深川 正  
中原 隆  
金子 尚弘  
酒井田 正  
下平尾 勲  
野田 政男  
宮 副新一  
山本 柳吉  
岩永 正徳  
岩永 寿久  
上滝 長久  
梶原 茂弘  
川浪 知行  
川口 正信  
岸川 吉次  
岸川 忠弘  
桑原 正敏  
杉原 常次  
土本 博  
西村 健三  
馬場 重嗣  
藤本 寛司  
堀江 茂男  
溝上 哲也  
水崎 貞雄  
諸隈 豪彦  
吉富 幹人  
久間 寛  
高 李一彦  
山本 康雄  
北島 忠則

1982年5月22日～31日

ドレスデン・マイセン窯業視察

香月 熊雄  
青木 類次  
梶原 謙一郎  
池田 喜与太  
古賀 喜佐雄  
中島 八郎  
山口 秀市  
山本 義幸  
篠原 文雄  
山本 哲郎  
緒方 欣一郎  
岩尾 熙  
岩尾 和子  
山口 忠太  
山口 久子  
佐藤 登士夫  
佐藤 シカ  
橋本 睦夫  
三井所 清典  
井手 誠二郎  
井本 勇  
相場 信博  
今田 美奈子  
藤本 和男  
下 今朝隆  
本石 優  
中原 隆  
住江 次郎  
山田 収一  
北島 弥生

1983年3月20日

「マイセン磁器とドレスデンの古伊万里名品展」出品交渉

森 永鉄雄  
中原 隆  
松隈 和富  
前山 博

1983年10月27日～11月6日

「マイセン磁器とドレスデンの古伊万里名品展」出品物返納

山下 久幸  
樋渡 公人  
吉永 陽三

1984年5月

「日本有田の陶芸並びに名窯展」事前協議

深川 正  
中原 隆

1985年3月2日～17日

「有田展」出品物確認

鈴田 由紀夫

1985年3月12日～21日

「有田展」エアフルト会場開会式出席

古藤 浩  
高島 忠平  
中島 政司

1985年6月4日～16日

有田マイセン姉妹都市佐賀県・有田町訪欧団

井本 勇  
青木 類次  
藤山 巖  
山田 陸三  
前田 丈夫  
岩尾 新一  
深川 正  
今泉 今右衛門  
辻 常喜  
石井 友規  
金子 昌司  
金子 スエノ  
久間 寛  
河内 信幸  
越智 正憲  
佐藤 登士夫  
中島 誠一郎  
中島 良人  
岩尾 俊志  
岩本 幸一  
清水 耕一郎  
佐藤 シカ  
内藤 大典  
井垣 春雄  
山中 和子  
深川 泰子  
本村 瑤子  
梶岡 陽子  
池田 保明  
池田 栄子  
藤井 陽滋  
梶原 太郎  
田中 英寿  
溝上 久枝  
篠原 恵美子  
山口 フジノ  
久間 千鶴子  
高口 鉄生

1985年8月2日～10日

「有田展」ベルリン会場展示指導

坂本 義弘

1985年8月4日～16日

「有田展」ベルリン会場開会式

志岐 常文  
北村 一義  
鷹巢 典雄  
中西 敏明  
青木 尊重  
岸川 貞光  
中原 聡子  
中原 康  
吉野 啓子

1987年5月30日～6月13日

ベルリン生誕750年祭

青木 類次  
前田 丈夫

西山峰次

1988年5月23日～6月2日

姉妹都市10周年記念事業

青木 類次  
福島 善三郎  
川口 武彦  
田代 忠恭  
前田 丈夫  
岩永 浩美  
酒井田 柿右衛門  
丸尾 哲夫  
加藤 弘次  
井手 信雄  
松尾 嘉之  
蒲地 照明  
岡澤 功徳  
岩永 正徳  
前田 淳一  
西山 誠一郎  
中島 良人  
西山 峰次  
金子 節男  
篠原 貞彦  
中島 京子  
井手 美代子  
岡澤 弘子  
館林 一彦  
高 李一彦  
川口 勝男  
嶋田 義弘  
白石 信吾  
西山 清治  
村田 律子

1990年5月14日～25日

マイセン市訪問と有田VOC協議

青木 類次  
中原 直利  
近藤 博昭  
江崎 幹夫  
末永 永彰  
結城 敏勝  
藤原 祐信  
河盛 好孝  
岡村 国助  
西山 峰次  
富吉 賢太郎

1991年9月15日～25日

姉妹都市再調印公式訪問

川口 武彦  
諸隈 武  
山口 秀市  
中島 政司  
蒲地 昭三  
篠原 文雄  
馬渡 俊雄  
岩永 浩美  
酒井田 柿右衛門  
田中 耕作

田中 清美  
織壁 外喜雄  
今泉 雅登  
岩永 正太  
福島 泰則  
益田 正晴  
生田 生巳  
古田 茂治  
小林 茂治  
酒井田 正宏  
藤本 寛司  
水山 新  
山口 隆敏  
下 今朝隆  
白石 信吾  
西村 隆幸  
福井 寿彦  
溝上 寛文  
山口 久之  
岩永 久美  
田澤 千春  
中原 直利

1992年3月24日～4月3日

マイセン青少年友好親善使節団

(青少年)

金武 三千代  
深海 裕子  
酒井田 奈緒子  
柴田 美紀  
末廣 久美子  
廉隅 大祐  
鶴田 三郎  
西山 佐和子  
古賀 景子  
篠原 祐美子  
金武 友子  
中島 斎未  
山口 リエ  
酒井田 理紗  
西山 憲一朗  
山口 賢太  
溝上 宗延  
兼石 淳  
久間 悠紀  
江頭 光世

(随行者)

篠原文也  
小林 成郎  
館林 茂  
原田 寿雄  
成富 清一郎  
西野 正紀  
池田 正寿  
岸川 敬樹  
益田 秀樹  
梶原 貞則  
下 今朝隆  
川内 将  
石丸 裕史  
松尾 仁美  
山口 修



手塚英樹  
深海英男

1992年8月

「海を渡った古伊万里展」  
出品交渉

蒲地昭三  
小島政昭  
平野正臣  
岡村国助  
大橋康二  
佐々木秀憲  
河野誠士

1992年10月5日～12日

「国際陶芸アカデミー」  
イスタンブール会議出席

(有田町関係者)

川口武彦  
藤原寛  
諸隈武  
今泉今右衛門  
酒井田柿右衛門  
蒲地昭三  
中島政司  
篠原文雄  
馬渡俊雄  
藤本寛司  
深川進一  
岩尾弘  
犬塚光夫  
山口雅照  
山田成美  
酒井田正宏  
今泉雅登  
近藤博昭  
川崎寛  
芳野文彦  
大坪勇郎  
岩永澄則  
山口秀市  
上滝長久  
丸田宣

(佐賀県関係者)

井本勇

以下20名

(その他関係者)

中里太郎右衛門

以下35名

1993年9月

世界・森の博覧会  
「文明とやきもの展」調査

吉永陽三  
佐々木秀憲  
永淵友子

1993年9月22日～10月1日

マイセンワイン祭参加

川口武彦  
古川命二  
稗田重徳

樋渡由治  
今泉善雄  
橋口博之  
田代タツエ  
山口静江  
森吉保夫  
塚口敏昭  
澤山敏家

1994年7月25日～8月3日

マイセン青少年友好親善使節団

(青少年)

松本尚子  
岩永香織  
手塚初美  
金武敏行  
森田文一郎  
北川倫子  
森田有紀  
真鍋弥生  
鷹取弘介  
岩田龍昌

(随行者)

福田守秀  
篠原文也  
金子真次  
益田秀樹  
西山保広  
西山純子

1994年9月4日～14日

IAC (国際陶芸アカデミー)

総会出席と姉妹都市交流

川口武彦  
諸隈武  
篠原啓一郎  
河口純一  
蒲原稔  
工藤徳義  
小島敏生  
今泉浩一  
雪竹康雄  
雪竹百合子  
吉島修輔  
岸川稔  
草場茂喜  
坂口佳世子  
行友至美  
庄野善勝  
蒲地孝典  
相良高二  
今泉今右衛門

今泉泰子  
岩永浩美  
田澤千春  
蒲地昭三  
朝重武彦  
中島政司  
篠原文雄  
馬渡俊雄  
稗田重徳  
古田茂

福島泰則  
藤本覚司  
梶原茂弘  
岩永隆信  
田代タツエ  
山口雅基  
重村保則  
生田博巳  
岩永寿久  
清水耕一郎  
荒木月秋  
馬場昌平

1995年9月18日～26日

マイセンワイン祭参加

川口武彦  
西山清治  
大坪彪悟  
中西忍  
松尾昇  
益田正晴  
田代タツエ  
佐藤哲二  
鶴田英子  
立林幸一  
伊藤文秀

1996年3月25日～4月3日

マイセン青少年友好親善使節団

(青少年)

岩永美保  
円田奈美江  
椋路地嘉代  
田代正子  
真鍋倫子  
古賀英俊  
北川祥子  
綾部舞沙  
福島藍  
小島華代  
溝上寛子  
手塚貴里  
池田大祐  
綾部翔  
池田加奈  
花島克幸  
力武加耶子

(随行者)

岩尾匡  
岩尾貴子  
江頭光世  
梶原貞則  
神農修一  
神農千春  
花島僚子  
吉永信彦

1997年8月24日～31日

マイセン姉妹都市  
女性職員国際会議

森田輝子  
岩永留美子  
前隈直子  
田代タツエ  
徳永真里  
徳永里子

1997年9月22日～30日

マイセンワイン祭参加

中原直利  
近藤博昭  
古川命二  
加藤計訓  
金石哲也  
石丸巖  
原田寿雄

1998年3月25日～4月3日

マイセン青少年友好親善使節団

(青少年)

西山昌寿  
花田成利  
蒲原大史  
成富ななえ  
原田詩子  
金子卯月  
馬場千尋  
王寺さやか  
綾部舞沙  
中島美幸  
徳永敬一  
副島由佳  
徳久裕子  
鳥越薫  
川口智久  
川口朋美

(随行者)

金子真次  
金子想子  
神近康三  
辻武史  
花田利男  
大坪康敏  
尾崎彰宣  
尾崎英子  
吉島幹夫  
荻矢知子

1999年9月19日～30日

姉妹都市20周年記念  
「ヨーロッパ産業経済視察  
及びワイン祭」訪問団

蒲地昭三  
蒲地綾子  
尾崎好弘  
尾崎征矢子  
田代章次郎  
田代紀子  
徳永弘  
徳永真里  
宮原孝嘉

宮原弘子  
杠常夫  
楠田安正  
近藤英喜  
淵上和男  
溝上恭子  
澤山敏家  
伊藤文秀

1999年9月21日～29日

姉妹都市20周年記念  
「有田とマイセンの風に舞う」  
事業訪問団

篠原啓一郎  
手塚英樹  
西山清治  
前田淳一  
原田寿雄  
金子真次  
前田凡次夫  
堀良次  
塘重雄  
前田雄一郎  
柴田祐子  
西山美穂子  
松尾つたえ  
成瀬百合子  
岸川文子  
山口恵津子  
中野澄子  
南圭子  
円田スマ子  
辻明子  
蒲原幸子  
円田悦子  
篠原京子  
篠原祐美子  
下平泰子  
田中シヅヨ  
金子里子  
松尾ユキ子  
西山久子  
前田芳江  
石丸種子  
藤悠紀子  
平田典子  
芝原静香  
盧真珠  
椎葉郷子  
国生義子  
小峰イサヨ  
林弘樹  
栗田康博  
花島康正  
大坪康敏  
山口憲吾  
山田義典  
辻武史  
吉島幹夫  
堀江秀明

# 年 表

有 田	
1592	豊臣秀吉の命により鍋島直茂は軍勢を率い朝鮮に渡る。
1598	陶工李参平は鍋島勢と共に日本に渡来。
1600	オランダ連合東印度会社(VOC)が設立。
1609	平戸にオランダ連合東印度会社の商館設立。
1616	李参平は多久より有田乱橋に移住し、泉山に磁石原料の陶石を発見。白川の天狗谷で磁器生産をはじめ。
1637	佐賀鍋島藩は有田・伊万里郷の陶業地と陶工を整理し、窯場を13カ所に定める。
1641	オランダの平戸商館が長崎出島に移される。
1646	柿右衛門は赤絵付けに成功し、長崎に出て赤絵物を売り始める。
1653	長崎商館がはじめて有田磁器を輸出。
1655	李参平上白川で没す。
1659	オランダ商館が有田皿山と磁器輸出契約を結ぶ。以後、数十年間に約200万個の有田焼を輸出。
1661	中国磁器にかわって有田磁器の輸出が本格化。
1672	鍋島藩は赤絵屋11軒を集めて赤絵町を設ける。その後、16軒となる。
1695	オランダのデルフト窯で古伊万里風の絵付けが始まる。
1698	オランダ東インド会社を通して肥前磁器の輸出が最高となる。
1750	イギリスのチェルシー窯やウースター窯で柿右衛門風の磁器が製作される。
1757	オランダ東印度会社は有田磁器の輸出を打切る。
1828	有田皿山窯場の大火。
1867	有田焼をパリ万国博覧会へ出品。
1870	ドイツ人化学者ワグネルを有田へ招き、染付け顔料として酸化コバルトの使用法、石炭窯の焼成などについて学術的指導を受ける。
1873	ウィーンの万国博覧会に有田焼を出品。
1876	米国フィラデルフィア万国博覧会に有田焼を出品。
1881	江越礼太が陶器工芸学校(勉脩学舎)を設立。
1895	有田徒弟学校開校(有田工業高等学校の前身)。
1896	西松浦郡陶磁器品評会を開き陶磁器製造の向上をはかる。陶器市、九州山口陶磁展の始まり。(以後毎年開催し1942年から1947年まで中止)
1900	有田徒弟学校を廃止し、佐賀県立工業学校有田分校を設立。
1903	佐賀県立有田工業学校創立。
1904	セントルイス万国博覧会が開催され、有田から多数の業者が出品。
1915	陶磁器品評会の期間中に窯元や商店の蔵さらえ大売出しが行われ有田陶器市として発展する。
1916	有田焼創業300年祭。
1917	陶祖李参平の碑建立。5月4日を「陶祖祭」と決める。
1948	第46回陶磁器品評会が開催され陶器市が復活。集中豪雨で大水害にみまわれる。
1966	有田焼創業350年祭。
1971	柿右衛門製陶技術保存会と色鍋島技術保存会が文化庁から重要無形文化財に総合指定される。
1979	有田町とドイツ民主共和国マイセン市が姉妹都市提携を調印する。
1985	佐賀県立有田窯業大学校開校。

マイセン	
1670	オーガスタ・ストロング王(在位1694~1733)生誕。
1675	この頃から科学者エーレンフリート・ヴァルターフォン・チルハウゼンが磁器を焼成する研究を重ねる。
1682	2月4日、ヨハン・フリードリヒ・ベドガー 生誕。
1696	ヨハン・グレゴリウス・ヘロルド 生誕。
1705	ベドガーがマイセンのアルプレヒト城で実験を始める。
1706	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー生誕。
1707	ドレスデンにベドガーの実験所が置かれる。
1708	1月15日、実験日誌のベドガー自身の記載によると、初めて白色磁器が焼き上がる。
1709	3月28日、ベドガーと彼の共同研究者は磁器の発明を報告する。
1709	チルンハウゼン没す。
1710	1月23日、ヨーロッパ磁器の発明が四カ国語で公式に発表される。
	6月6日、アルプレヒト城にヨーロッパで最初の硬質磁器製作所が完成する。
1715	ドレスデンのオーガスタ王が磁器の収集を始める。(~33年)
1717	マイセンにおいて最初の染付製品が生産される。
	4月19日、オーガスタ王は自国の600人の騎兵とプロシア王の所有する中国磁器127点と交換する。
1719	オーガスタ王の磁器の館、即ちドレスデンの「日本宮」を飾るための磁器製品が発注される。
1720	ヨハン・グレゴリウス・ヘロルド がウィーンからマイセンに来る。この頃から、白磁の上に色絵彩色技法が開発される。
1720	柿右衛門様式を写した色絵磁器が製造される。
1721	オーガスタ王はドレスデンの居城の収蔵品に関する在庫目録を付けさせる。(ヨハネウム番号)
1722	ライプチヒの見本市に彩絵磁器が出品される。
1723	J.G.ヘロルドが宮殿絵付師に任命される。
1731	彫刻家ヨハン・ヨアヒム・ケンドラーがマイセンに来る。以後、磁器の成型家として活動。
1733	オーガスタ王、没す。
	35,798点の磁器を残すと伝えられる。
1735	ザクセンの総理大臣ハインリッヒ・フォン・ブリュール伯爵は、無制限の機能と利益権をもって製陶所を受け継ぐ。
1740	マイセン磁器製作所の従業員218人を数える。
1751	マイセン磁器製作所の従業員571人を数える。
1756	7年戦争始まる。
1764	フランス人の彫刻家ミシェル・ビクトル・アシエ がマイセンに来る。ケンドラーと共に制作する。
1765	マイセン磁器製作所の従業員731人を数える。そのうち、270人が絵付師。
1775	1月30日、J.G.ヘロルド没す。
	5月18日、J.J.ケンドラー没す。
1810	製陶所創設100周年記念祭。
1817	新しい染付(酸化クロム青)技法の発明(緑色の葡萄文様装飾)。
1833	円型窯の導入、及びその他の技法改革を実施。
1864	製作所をアルプレヒト城からトリービッシュの新しい建物に移す。
1916	製陶所の記録及び作品の展示場が完成。
1960	製陶所創設250周年記念祭。
1982	ベドガー生誕300年記念シンポジウム開催。

## 陶都有田国際交流協会の紹介

陶都有田国際交流協会は、有田町と外国都市との産業、文化、教育などの国際交流事業を促進し、国際的な相互理解による友好親善に寄与することを目的としています。

協会の組織は、有田町長を会長、有田町議会議長及び有田商工会議所会頭を副会長とし、有田町の企業並びに各種団体、町議会関係者等により構成されています。

協会会員は次のとおりです。

会 長 有田町長

副会長 有田町議会議長

有田商工会議所会頭

会 員 佐賀県議会議員

有田町議会副議長

町議会総務常任委員長

町議会文教厚生常任委員長

町議会産業建設常任委員長

有田町教育委員会委員長

有田磁石場組合管理者

有田警察署長

佐賀県立有田窯業大学校長

佐賀県立九州陶磁文化館長

佐賀県立窯業技術センター所長

大有田焼振興(協)理事長

佐賀県陶磁器工業(協)理事長

肥前陶磁器商工(協)理事長

佐賀県陶磁器卸商業(協)理事長

有田焼直売(協)理事長

佐賀県陶磁器錦付(協)理事長

有田町農業(協)組合長

有田商工会議所専務理事

大有田焼振興(協)専務理事

岩尾磁器工業(株)社長

(株)香蘭社社長

深川製磁(株)社長

有田物産(株)社長

西松浦通運(株)社長

(株)今右衛門窯社長

(株)柿右衛門窯社長

(株)源右衛門窯社長

(株)有田VOC社長

有田町区長会会長

伊万里・有田焼伝統工芸士会会長

有田陶芸協会会長

肥前有田ライオンズクラブ会長

有田ロータリークラブ会長

有田商店連盟会長

有田地区労働者福祉協議会会長

有田町地域婦人連絡協議会会長

国際ソロプチミスト有田会長

有田町建設業組合長

有田陶交会会長

有田はなぶさ会会長

陶都有田青年会議所理事長

有田マイセン友好協会会長

有田金融協会会長

企画・制作／陶都有田国際交流協会

佐賀県西松浦郡有田町岩谷川内二丁目8番1号

TEL.0955-43-2101 FAX.0955-43-2107

発 行／平成12年 2月 9日

印 刷／印刷ショップ有田

